

イチヨウ イチョウ科
Ginkgo biloba

「都の木」
中国が原産で高さ30mになる落葉高木です。
一属一種、雌雄異株の
イチヨウは生きた化石と
いわれています。



ハナミズキ ミズキ科
Cornus florida

北米、メキシコ原産の落葉樹で、大正時代
に米国からサクラの返礼として渡来しまし
た。
四月下旬に花が咲きま
すが、花びらに見える
ものは総苞片というも
ので、真ん中の黄色
い部分が花です。



サクラ科バラ科
Prunus spp

「都の花」
日本のサクラは園芸品種を含めると数百種
になると言われています。
その中で街路樹として
はソメイヨシノ、ヤマザ
クラ、サトザクラなど
が一般的に用いられ
ています。



ブラタナス類 スズカケノキ科
Platanus spp

明治の初めに渡米した樹木で、学名をとり
ブラタナスとも呼ばれています。丈夫で適応
性が広く、世界各地に
見られています。アジ
ア産のスズカケノキ、
北アメリカスズカケノ
キ、イギリスで栽培さ
れたモミジバズスカ
ケの三種類があり、
葉の切れ込みが少し
ずつ違います。



トウカエデ カエデ科
Acer buergerianum

名前のように唐・中国が原産で、雌雄異株
の落葉高木です。
カエデの仲間はどこも
葉が対生(枝の同じ位
置から葉がでる)であ
るという特徴があり、
葉がにているフウとは
この点でも区別できま
す。



ケヤキ ニレ科
Zelkova serrata

代表的な落葉樹で、独特の逆ほうき状をし
た美しい樹形で、古くから並木や屋敷林とし
てよく用いられてきま
した。雌雄同種で雌花は
枝の上部葉えきに単生
雄花は新枝の下部に
密生します。



クスノキ クスノキ科
Cinnamomum camphora

日本の暖地に自生する常緑高木で、古くか
ら神社仏閣などで植えられ巨木も多く見られ
ます。中国名を樟といわ
れており、幹や葉から
樟脳油がとれることで
知られています。



マデバシイ ブナ科
Pasania edalis

近畿以南の暖かい地方に自生する常緑高
木で、街路樹として使われ出したのは比較的
新しいものです。堅果
(ドングリ)は食べること
ができますが、食味
はシイ属より味が劣る
といわれています。



エンジュ マメ科
Sophora Japonica

中国原産の落葉高木で、小枝は年中緑色
をしています。7月から8月に黄白色の花を
つけたあとには、数珠状の豆果を多くぶらさ
げます。この豆を野鳥
が好んで食べることか
ら、鳥を呼ぶ木として
知られています。



ヤマモモ ヤマモモ科
Myrica rubra

伊豆半島などの暖かい地方に自生する雌
雄異種の常緑高木で、日あたりが良く、寒風
があたらない所を好み
ます。夏につく赤い実
は食用とされます。



その他

平成19年度よりトキワマンサク、ムクゲ、
ソヨゴなどの四季折々の花や実のなる中木
を高木と高木の間に植
栽している。

写真:ソヨゴ

